

**製品名: DSCR 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10173**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	22kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RCAN1 RCAN1; ADAPT78; CSP1; DSC1; DSCR1; Calcipressin-1; Adapt78; Down syndrome critical region protein 1; Myocyte-enriched calcineurin-interacting protein 1; MCIP1; Regulator of calcineurin 1
別名	
遺伝子 ID	1827.0
SwissProt ID	P53805
免疫原	抗血清はヒト RCAN1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 201-250

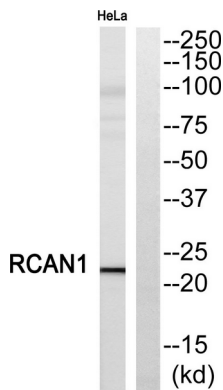
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質はカルシニューリン A と相互作用し、カルシニューリン依存性シグナル伝達経路を阻害することで、中枢神経系の発達に影響を及ぼす可能性があります。この遺伝子はダウン症候群表現型の最小候補領域に位置し、ダウン症候群胎児の脳で過剰発現しています。この遺伝子の慢性的な過剰発現は、アルツハイマー病に関連する神経原線維変化を引き起こす可能性があります。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2013年11月],機能: カルシニューリン A の触媒ドメインに結合して、カルシニューリン依存性転写応答を阻害します。中枢神経系の発達において役割を果たす可能性があります。誘導: カルシウムによる。類似性: RCAN1 ファミリーに属する。組織特異性: 心臓、脳、骨格筋で高発現しています。他のすべての組織でも発現しています。、

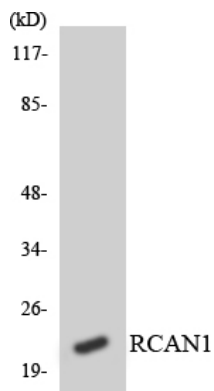
## 研究分野

B 細胞抗原

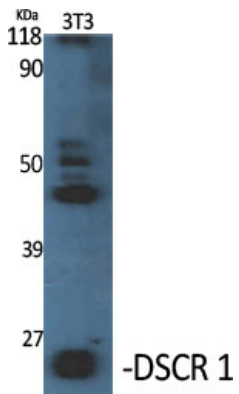
## 画像データ



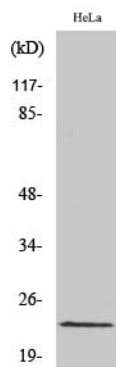
RCAN1 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは RCAN1 ペプチドでブロッキングされている。



RCAN1 抗体を使用した HT-29 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



DSCR 1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



DSCR 1 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈した HeLa 細胞のウェスタンブロット分析